

4 保健

母体保護法第25条の規定により届け出られた不妊手術及び人工妊娠中絶件数は、これらに関する事項を把握し、母体の生命、健康保護に必要な諸施策立案の基礎資料を得ることを目的とした届出統計です。平成13年までは母体保護統計により作成されていましたが、平成14年度からは衛生行政報告例に組み込まれ、それまでの年報から年度報に改められました。

令和元年度の不妊手術件数は、216件で平成30年度と比較して20件増加し、実施率（20歳以上49歳 人口10万対）は、12.3で前年の11.0から1.3ポイント上回っています。

実施率の年次推移をみると、昭和50年までは大きく低下し、その後は緩やかな低下傾向となっていました。平成9年は大幅に増加し、その後また低下傾向となっており、令和元年度は前年から増加しています。（表11、図23）

令和元年度の人工妊娠中絶件数は6,809件で、平成30年度の7,088件より279件減少しました。実施率（15歳以上49歳女子人口千対）では6.9となっています。実施率の年次推移をみると、昭和40年代から低下し、昭和50年代前半で横ばいとなりましたが、再び平成7年度から横ばいとなるまで、さらに大きく低下しています。その後、平成12年度からも低下傾向にありますが、全国と比較すると、常に高い数値にあります。（表12、図24）

表11 不妊手術の実施数の年次推移

年次		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
北海道	総数	172	200	191	169	145	175	189	199	196	216
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	172	200	191	169	145	175	189	199	195	216
全国 1)	総数	3 107	3 221	3 498	3 782	3 932	4 236	4 607	5 007	5 253	5 128
	男	16	29	27	18	38	51	42	43	183	208
	女	3 051	3 192	3 471	3 764	3 894	4 185	4 565	4 964	5 070	4 920

注：1)平成22年は東日本大震災の影響により、福島県の相双保健福祉事務所管内の市町村が含まれていない。

図23 不妊手術実施率の年次推移

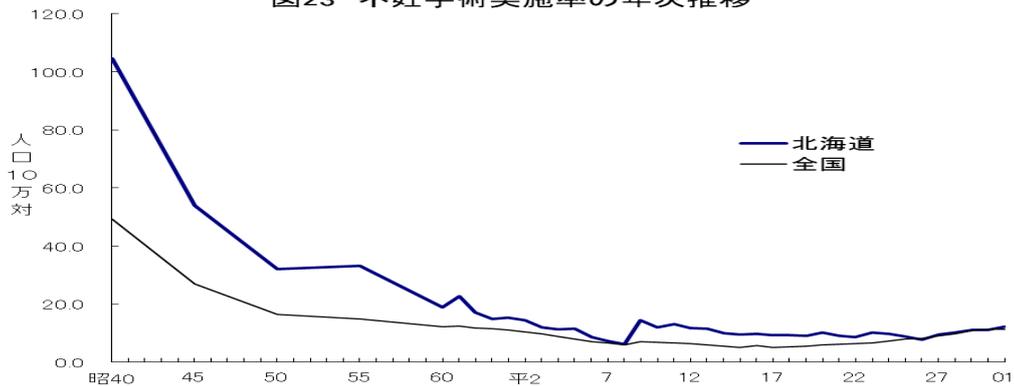


表12 人工妊娠中絶数の年次推移

年次		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
北海道		10 645	10 236	9 725	9 047	8 800	8 483	7 987	7 234	7 088	6 809
全国 1)		212 665	202 106	196 639	186 253	181 905	176 388	168 015	164 621	161 741	156 430

注：1)平成22年は東日本大震災の影響により、福島県の相双保健福祉事務所管内の市町村が含まれていない。

図24 人工妊娠中絶実施率の年次推移

